

台本

2010年国民春闘総決起集会
構成劇「変化をチャンスに！」

2010年1月26日（火）

東京都中野区・なかのゼロ大ホールにて上演（およそ12分）

「登場人物」

日和見留三
ひよりみ るぞう

都内の金属加工会社社員。元組合役員。定年も近い。

待子
まっこ

その妻（男性が演じる）

良男

その息子。23歳

組野合子
くみのあいこ

日和の同僚。組合書記。

舞台上にテーブル・ソファセット。会館にあるものを利用し、テーブルクロスなどで雰囲気を出す。両側にホワイトボードなどを使って袖があると良い。

日和はテーブルについて新聞を読んでいる。待子はテーブルを拭いている。良男はパジャマ姿でもそもそと食事をしている。

ナレーター（組野役が兼任）長引く不況、相次ぐ社会保障の改悪によつて生活苦にあえぐ人々が変化を求めて自公政権を倒した〇九年もあけた。迷走を続ける民主党の、大企業優遇、庶民いじめの政策に人々が幻滅を感じ始めていた二〇一〇年一月末のある夜、都内の金属加工会社に勤める日和見留三、待子夫婦の元へ、組合の書記組野合子が尋ねてくるところからこの物語は始まる。

ピンポンとチャイムの音

妻 はい。（玄関へ行き、戻ってくる）あなた、組野さんて方が。

日和 ええ？（玄関へ行き）あれー、あいちゃん、どうしたの。

組野 ごめんなさい、こんなに遅く。

日和 まあ、あがんなさいよ。

組野 すみません、お邪魔します。

日和 女房の待子と息子の良男だ。

組野 はじめまして。

日和 組野合子さん。会社の同僚だよ。

妻 あら、そうですか。主人がいつもお世話になっております。
組野 こちらこそ、日和さんにはいつもお世話になってます。
日和 またまたー。
組野 ほんとよ。
妻 (ひいて)あの、お世話につて、…どういう？
組野 え？
妻 何か特別な…？
組野・日和 ええ？
日和 バカ！この人はうちの労働組合の書記さんだ。
妻 労働組合？あら、まー、やだー、私つたらつつきりあなたがアレしたのかと…(日
組野 和をつつつく)もー、ごめんなさい。
組野 いえいえ。
日和 (苦笑)いい年してヤキモチなんか焼くなよみつともない。ねえ。ハハハ。
妻 はいはい。どーぞ、こちらへ。
組野 あ、はい、失礼します。ごめんなさい、ほんと突然。
日和 いや、いいけどさ、どうしたの？
組野 実はおりいってご相談があつて…。
妻 ご相談？
日和 いいからお前はあっちへ行つてろ。
組野 いえ、待子さんにもぜひ聞いていただきたいんです。ご家族全体にかかわることで
妻 すから。
妻 あら。

日和 何だよ一体。

組野 今度の春闘のことなんだけど。

日和 なんだ、春闘か。

組野 なんだじゃなくて、うちの組合ってこの所春闘らしい春闘やってないじゃないですか。会社は不況を理由にして、ベアゼロ、定期昇給無しで来たでしょう。業績が悪いからってこのまま我慢してるだけじゃ、生活は苦しくなるばかりですよ。うーん…

組野 パートのおばちゃんたちのこともあるし。正社員と同じ仕事してるのに給料半分です。全然無権利でしょ。おばちゃんたちを組織化していくこともこの際考えようと思っ

日和 えー？

組野 ここはひとつ、以前組合の役員だった日和さんのお力もお借りして、みんなの要求をまとめて、会社にドーンと突きつけないんですよ。ぜひ協力して下さい。お願いします。

妻 お言葉ですけど、それちょっと甘いんじゃないですか？

組野 甘い？

妻 この不景気、お先真っ暗って感じ。円高で輸出は不振だっていうし…。

組野 09年は貿易黒字でしたよ。

妻 去年は去年、円高の影響が出るのは今年じゃないかしら。まあ、今時首がつかって、給料が下がらないだけ幸せだと思わないと。ねえ、お父さん。うーん、まあ、会社側がそういうのは目に見えてるよな。

組野 だから輸出依存から内需拡大に経済構造を切り替えていかないと駄目なんですよ。

それには賃上げで庶民の懐をあつためないと…。

妻　うちだけ頑張っても、ねえ。

組野　そうなんです。地域でも大宣伝して、国民総ぐるみの運動を盛り上げようっていう

組野　のが今年の春闘方針なんです。

妻　無理無理。うちのおとなり中小企業の社長さんなんだけど、受注が減って仕事なく

て、借金だらけでもう夜逃げ寸前。こっちのおとなりは公務員なんだけど、人事

院勧告で給料減っちゃって、住宅ローン払えないって青くなってるわ。そこへ賃

上げ応援してくれっていったって、おととい来いで終わりですよ。

日和　公務員は安定してるなんて威張ってたけど、今じゃ民間より給料平均低いもん

日和　なあ。

妻　今までが高すぎたのよ、あの人たち。

組野　そんな…。

妻　悪いけど、ここはおとなしくしてた方がいいと思うの。うちのお父さんなんて定年

間際だから、下手に騒いで早期退職なんか迫られたら老後の人生設計狂っちゃう

日和　し。ねえ、あなた。

日和　そうだな。いやあ、うちは不良債権抱えちゃってるからさ。

組野　不良債権？

日和　息子だよ息子。

組野　ええ？

日和　せつかくIT企業に就職したのに半年で首になっちゃまってさ。ずっと家でゴロゴロ

妻　してるばかりで…。

妻　あなた。

日和 こいつが甘やかすから日陰のモヤシみたいに育っちゃって、打たれ弱いつてかなんてーか。

妻 あなた。

日和 当分こいつの分まで働かなきゃならねえからさ、出来の悪い息子を持つと苦労するよ。ハハハ。

良男 ふざけんなよ。(読んでいた新聞を叩きつける)
日和 え。

良男 甘いのは親父とお袋なんだよ！(手当たり次第に物を投げつける)

日和 やめる！

妻 良男ちゃん、どうしたの！

良男 俺が会社でどんな目にあつたか知らないくせに。

日和 新入社員がしごかれるのは当たり前だろう。甘ったれんな。

良男 なんだと！

良男が日和に掴みかかるうとするのを待子と組野が止める。

良男 親父の時代とは違うんだよ！ 営業のノルマが厳しくて毎日十一時まで働いて、土

日も出ないと「やる気ないの」とか言われてよ。

組野 ひどい。

良男 残業は週五十時間までしか認められないから全員出勤簿偽造だよ。一度五十時間こえてつけたら呼び出されて書き直させられて。

組野 それ違法じゃない。

良男

そつだよ。飯喰う時間もないから毎日カツプ味噌汁にご飯いれてかきこんでさ。月始めに「何件獲得します」って目標宣言させられて、出来ない朝礼で「給料泥棒」って詰められるんだぞ。三ヶ月目標達成出来なかったからって支店長の前で退職届書かされて……。(泣く)

妻
良男ちゃん。

良男

契約金の肩代わりしてサラ金から金借りて、それがバレて首になった奴もいるし、毎月4・5人はやめていくんだ。根性だけでなんとかなると思ってるのかよ！

日和

いや、それは、不良債権なんて…ふざけるな。

妻

そつよ、ひどいわよ、あなた。何だ。

良男

親父たちが自分とこの賃上げばかり精出して、労働法の改悪を許しちゃったから俺たちの世代がこんなに苦労するんだ。責任取れよ！

妻

そつよ！責任取りなさい！お前まで調子にのるな。

日和

苦労したのねえ、良男ちゃん。何でもっと早くママに言わなかったの？

良男

言っただってどうにもならないだろう。そんなことない。

良男

え？
組合に相談したの？
そんなもんないんだよ！

組野

相談してくれればよかったのに。目標が達成できなかったからなんて理由で解雇に

妻 はできないのよ。それで首きるのは不当解雇よ。
そうなの？

組野 日和さん、どうして言ってくれなかったんですか。

日和 いや、俺も今初めて聞いて。

妻 この人は息子のことなんか全然考えてないんですよ。

日和 考えてるよ。

妻 顔見りやお説教ばかり。あれじゃ何も言いたくなくなりますよ。

日和 お前だってそうじゃないか。

日和と待子もみあう。

良男 いいかげんにしろよ！

組野 まあまあ、夫婦喧嘩は後にして。良男くん、今からでも解雇撤回できるわよ。

良男 ほんとですか。

組野 一人でも入れる組合を紹介するから、一緒に闘いましょう。

良男 はい…。

妻 ママも応援するわ。

組野 君の言うとおり、若い人を使い捨てにする今の企業のやり方が間違ってるの。不況
だっていったって、大企業はまだまだ内部留保をたっぷり溜め込んでるんだから、
きちんと社会的責任を果たさせないとね。

良男 内部留保なんてあるんですか？

組野 二〇〇八年の三月で二三〇兆円もあった内部留保がそんなに簡単になくなるわけ

ないでしょ。

妻 二三〇兆円！

組野 鳩山首相が母親から9億円も子ども手当もらってるのがその証拠よ。

妻 そうか！

組野 円高だ不況だって、新聞もテレビも財界よりの報道ばかりしてるけど、働く基本は正規雇用なのよ。賃上げして、働くルールを守って、労働者が豊かになれば、内需が増えて日本経済も元気になるの。だから、日和さんも待子さんも、息子さんのためにも声をあげましょう。はい、これ絞めて（皆に赤い鉢巻を渡す）準備いいですか？ シュプレヒコール！

三人 おー！

組野 要求してこそ、

全員 職場は守れる！

組野 賃上げしてこそ、

全員 景気は回復する！

組野 10春闘、団結して

全員 ガンバロウ！